

諏訪町ゆっと

【諏訪町のこと②】

40年前、元東京白十字病院院長の佐藤智氏が提案し、東村山医師会の主導で始まった「老人保健福祉事業（老人地域サービス）」は、今日の高齢化社会を見通した先進的な事業でした。そのモデル地区の1つ諏訪町は、当時珍しかった「おしゃべりの会」や「手まりづくりの会」を開いたり、町の篤志家からいも畑の提供を受けて老人や障害児と「芋掘り会」を催したり、毎年1月中旬には「まゆだま祭り」を楽しんでいました。“ボランティア”の呼び名も珍しい頃の事です。今年1月諏訪会館での「まゆだま祭」は第35回でした。尚、社会福祉協議会の初代会長は、諏訪町の故池田重藏氏です。



【投稿】

福祉に携わって20数年になりますが、現在市内のグループホームに勤務し、ご入居者様と一緒に毎日の散歩や食事作り、入浴介助といった業務をしながら日々人生の諸先輩方と接し、自分自身まだまだ勉強不足で教えていただく事も沢山あり、ご入居者様との会話の中で笑いも多く、私の方が元気を与えていただきながら毎日を楽しんでいます。



そんな中、諏訪町に住みながらあまり地域の方々との交流もなく、こんな事でよいのだろうかと思問自答していた矢先に「諏訪町ゆっとボランティア」を知り、微力ながらも何か私にもお手伝い出来る事がないだろうかとの思いで早速入会させていただきました。会員の方達の福祉に対して真剣に取り組まれている姿勢に、頭が下がる思いでした。

今核家族化の中で、まず近隣から親近感を保ち、高齢者が安心して住み慣れた地で暮らしていける様にお互いに地域で支えあい、協力しあいながらまずは健康で、安心・安全・安楽に老後を豊かに過ごせるよう心掛けていきたいと思っています。



地域の方との交流で私自身今まで気づかなかった事や地域に必要とされることは何かを追求しながら、地域の方とふれあい交流の在り方を模索していかなければならないと強く感じている次第です。

(諏訪町2丁目 木下みさ子)

【編集後記】

今年の夏は猛暑続きで大変でした。3月11日の大災害の被災者の方々を日本中で、また世界中の人々が見守って応援をしています。

東北地域の絆の深さは、深く考えさせられ、私達も出来ることからまずは地域の皆様と、手を取り合っ、このような時こそ力を発揮できるように、地域包括支援センターと一緒に取り組んでいきたいと思います。

どうぞよろしくお願いたします。(担当 古谷)

諏訪町ゆっと交流会開催

平成23年7月23日(土)、社会福祉センターにおいて、本年度第2回諏訪町ゆっと交流会が開催されました。当日は暑い中にも関わらず30名近い方々にお集まりいただきました。

第1部は、「上手に使う介護保険」と題し、北部地域包括支援センターの鈴木氏より、

- ①高齢化の現状
- ②介護保険の利用方法
- ③介護保険で利用できるサービスの内容

等についてお話がありました。強調されていたのは、

「病気も介護の問題も同じで早期発見・早期対応が大切であり、そのために、ちょっとしたでも困ったことが起きた時は、北部地域包括支援センター(☎042-397-5123)等の相談機関に相談してほしい」ということでした。

まさにゆっとの活動は、早期発見・早期対応をサポートするネットワークですね！

また、当日は参加者の皆様より多くの質問が寄せられ、「介護保険と成年後見制度の関係は?」「市内の老人ホームの数は?」といった質問の他に、「次回は是非、寸劇を取り入れて説明を!」といったアドバイスまでいただきました。

続いて行われた第2部井戸端会議では、介護保険制度に関する意見はもちろん、「ゆっとの会員を増やしていくために、自治会の役員とゆっとのメンバーと一緒に個別訪問するのもいいのでは」といった貴重なご意見も頂きました。

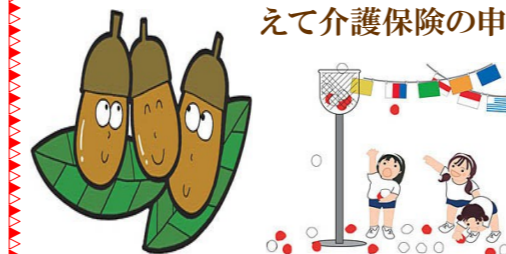
次回は、平成24年1月28日の予定です。詳細が決まりましたらご案内いたしますので、皆様奮ってご参加ください。お待ちしております。



【こんなことがありました。】

先日、ゆっとボランティアの方から包括支援センターにお電話がありました。内容は、ご近所の一人暮らしの方が「さみしくて仕方ない」とおっしゃっているので、ちょっと訪問してほしいということでした。

早速職員が訪問しました。ご本人は比較のお元気な方でしたが、「お友達と一緒にいる時は感じないんだけど、一人になるとさみしい気持ちになったり不安になるのよ」とおっしゃっていました。よくお話をお聞きしてみると、以前にもこのようなことがあり、今もお薬は飲んでいるけれど、最近薬だけで診察を受けていませんでした。そこで、憩いの家やサロンをご紹介するとともに主治医への受診のお手伝い、先々のことを考えて介護保険の申請を行いました。



相談できる場所が見つかった安心感からか、最近さみしさも少し落ち着いた感じがいたします。引き続き時々様子をお伺いしに行ってみようかと考えています。今後も、ご近所の方で気になる方がいらっしゃいましたら遠慮なくお電話ください、よろしくお願いたします。